

(学年) 1 学年, (教科・科目) 保健体育科・体育

一斉学習

(単元) バドミントン (球技)

(本時のねらい)

バドミントンは、身体やラケットの操作によりネット挟んで鳥の羽からできたシャトルを空中で打ち合い、一定の得点に早く到達することを競うネット型の球技である。バドミントン選択者の中には、ラケットにシャトルを当てるのが苦手な生徒も多い。そこで、バドミントンの特性に触れながら特に「ラケットの扱い方」を中心に、ラリーが続けられるよう、本単元を設定した。

(単元の目標)

役割に応じたシャトル操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。

(ICT 活用方法)

言葉での説明をなかなか理解できない生徒も多い。活動にめりはりがつき、生徒が能動的に取り組める。従来は個人指導が主であったが、ラケットの扱いについて新たな発見を生徒にさせたい。さらに生徒の様子を見ながら個人指導も行う。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合・整列</li> <li>・健康観察</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習内容を知る。</li> <li>・準備運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康状態を観察し、体調の悪い生徒については無理をさせないように配慮する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の流れと課題を知らせ、見通しをもって学習できるようにする。</li> </ul>	
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーンに表示されたラケットの握り方を理解する。</li> <li>・スクリーンに表示されたシャトルの打ち上げの方法を見て、模倣して行う。</li> <li>・ミニラリー（ネットなし、1対1）を続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクタでスクリーンに握り方の例を示し実際に握らせる。</li> <li>・プロジェクタでスクリーンにシャトルの打ち上げの方法を示し行わせる。</li> <li>・ネットのない状態で1対1のミニラリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーンにプロジェクタで投影する。</li> </ul>

	けられるようにする。	を行わせ，できるだけ連続できるよう指示する。	
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片づけ</li> <li>・整列</li> <li>・教師の評価を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狙いを達成した生徒の例を挙げ，次時への意欲付けを図る。</li> </ul>	

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

体育の授業を楽しみにしている生徒がほとんどであり、スクリーンを見るより少しでも実技を楽しみたいと思っている。しかし自己流でなく少しでもウィークポイントを減らしていくことでゲームの楽しみも増え、達成感を味わえる。今後はラリーの様子を録画して、その録画を見ながら評価し合うような場面も想定される。